

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

中東情勢緊迫化もあり安値修正が続く

NY原油先物相場は、1バレル=88ドル水準まで小幅値上がりする展開になった。中東情勢が不安定化していること、原油在庫の減少、値ごろ感が意識される中、週を通じて押し目買い優勢の展開になった。10月3日以来の高値を更新している。米長期金利上昇、ドル高、株安など金融市場からの逆風が強くなったが、原油相場は緩やかなペースで安値修正を進める展開が維持された。

10月7日にハマスがイスラエルに対してミサイル攻撃を開始してから2週間が経過したが、高いレベルの先行き不透明感が維持されている。ガザ地区では病院が爆発して500人規模の死者が報告されているが、イスラエルとイスラム組織ハマスの双方が互いを批判しており、実際に何が起きたのかは分からない状態が続いている。近く、イスラエルがガザ地区に地上軍を投入し、中東情勢が一段と不安定化するリスクが警戒されていることはポジティブ。ただし、現時点では原油供給に何ら問題が生じている訳ではなく、地政学リスクのみで原油相場を買い上げるような動きは限定的だった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月13日時点) は、原油が前週比449万バレル減、ガソリンが237万バレル減、石油精製品が319万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給の引き締まりと地政学リスクで80ドル窺う展開に

中東情勢主導の大きな上昇は想定されていないが、それを考慮に入れなくても国際原油需給のひっ迫化が原油価格を押し上げる展開が続く見通し。95.03ドルをピークに一時81.50ドルまで値下がりしていたが、その後の上昇が再開された局面との評価になる。北米や欧州などで需要減退が報告されているが、中国の需要環境が良好であり、世界全体では石油需要の大きな落ち込みは認められない。一方、サウジアラビアとロシアは年末までの供給調整継続を決定しており、世界的な在庫減少圧力が原油価格を押し上げる展開が維持されよう。90ドル台回復が打診される見通し。

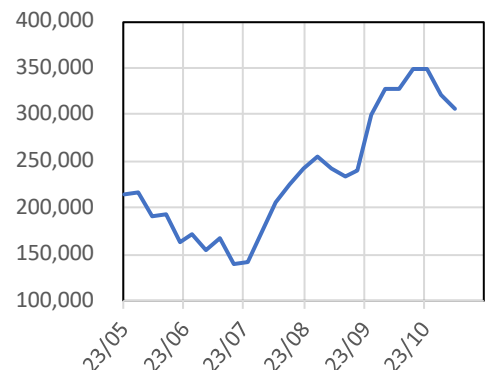
米国では製油所メンテナンスシーズンでも原油在庫の積み上がりは限定されている。また、WTI原油先物の受渡場所であるオクラホマ州クッシング地区の在庫は今年最低を更新し続けている。在庫環境からは、原油相場が改めて95ドルを上抜く展開も支持されており、調整売り一巡後の反発が打診される見通し。

米エネルギー省（DOE）は、12月と来年1月にそれぞれ300万バレル、合計で600万バレルの原油を戦略石油備蓄

（SPR）向けに購入する計画を発表した。79ドル水準での購入に意欲を示しており、原油価格の下値が切り上がることになる。

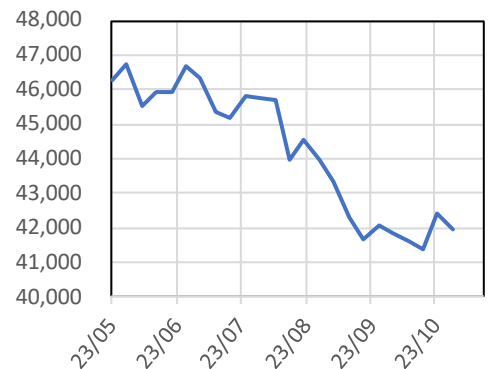
一方、下落リスクとしては引き続き米長期金利の上昇、それに伴うドル高や株安のリスクに注意が求められよう。また、仮にイスラエルがガザ地区に地上軍の投入を開始した場合、短期的な材料出尽くしとの評価が広がると、利食い売り優勢の展開に移行する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



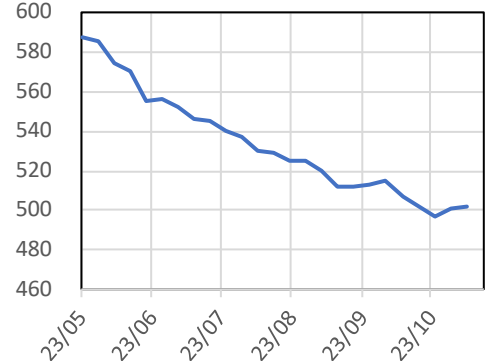
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

